

【訪問介護】情報連携による業務効率化例

ヘルパーが介護情報連携アプリを使うことで、情報連携を活性化しつつ、業務効率化を実現する

＜サービス提供責任者＞

- ① ご利用者様に関わる申送りコメントを作成、送信します。
- ② シフト調整から、申し送りコメントの内容を確認することができます。



データ集積

- ⑤ ルート管理から、申し送りコメントの内容を確認し、到着を確認できます。

- ⑦ 過去の申し送りコメントやヘルパー入力メモを確認できます。また、実績やコメント履歴をCSVで出力できます。

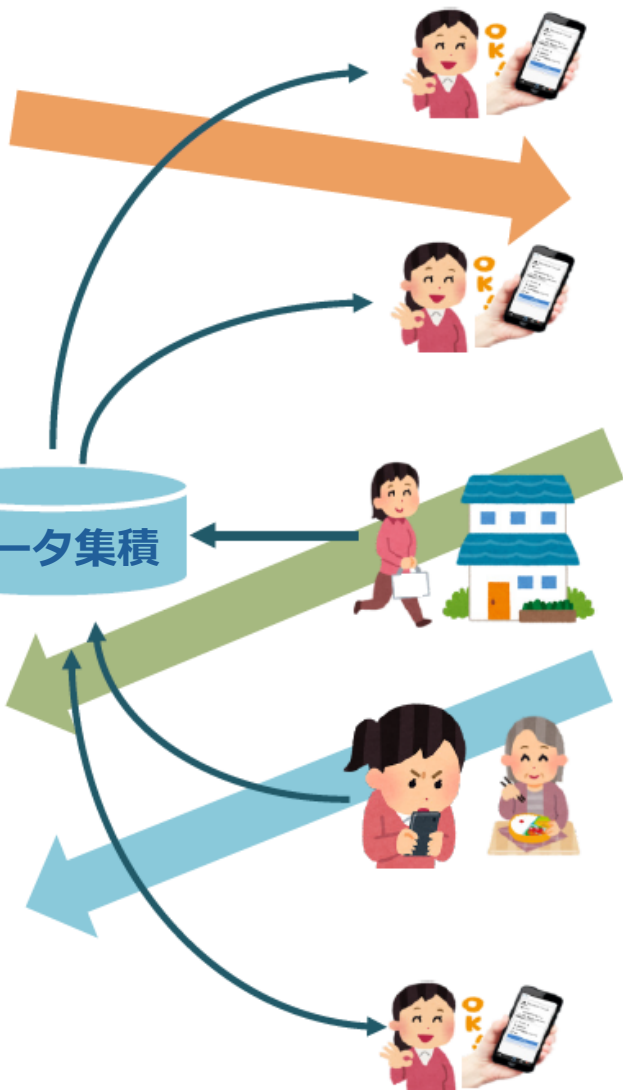
＜ヘルパー＞

- ③ 当日のスケジュールから申し送りのある居宅を確認することができ、申し送りコメントを事前に確認できます。

- ④ 居宅到着時に注意情報を確認し、申し送りを確認します。
(未読では到着報告できません)

- ⑥ 居宅訪問時に、共通メモから申し送りへの報告や、特変情報などを登録します。

サービス提供責任者とヘルパーは、アルバムコメントを利用して、実績に対するコミュニケーションをとることができます。



【訪問介護】情報連携による業務効率化例

ヘルパーが介護情報連携アプリを使うことで、タイムリーな情報共有と正しい請求が可能となる

